

特集 探偵

『霧団気探偵鬼鷓航』

高里 椎奈/著 講談社 講談社文庫

鬼鷓航は、オーダーメイドの三つ揃いスーツを着こなし、姿勢のよい立ち姿、切れ長の目に鼻筋の通った造作と、たまたまは完璧に名探偵。しかし、鬼鷓探偵社の経理担当・佐々稀一によれば推理をしない、霧団気だけの探偵だ。何とか鬼鷓に推理させ、見事事件を解決、名探偵！としたい佐々だが、いつも推理はせずになぜか事件解決、しかも依頼人の気持ちに寄り添って…の展開に。鬼鷓を温かく見守る丸古警部補、一方的にライバル視している探偵・日置、そのパートナーでクールビューティな七瀬と、登場人物たちも楽しい1冊。

『北乃杜高校探偵部』

乾 くるみ/著 講談社 講談社ノベルス

京都府宇治市にある府立北乃杜高等学校の二年生、地元の名家のお嬢さま・山科桃子、他県からのスポーツ入学組の稲川みどりと清水克文、生徒会長の赤倉志朗、文化部の集まりの文連会長の横井圭の5人は、「謎解き」をする仲間たち。校歌や応援歌とは別にある逍遥歌の歌詞の謎から始まり、修学旅行中に起きた事件など、日常の中で起きる事件を5人が力をあわせて解決していく。創立百年、前身は旧制中学である歴史ある伝統校の濃い学校生活も魅力的です。こんなアツい青春を過ごしてみたかった！

『創薬探偵から祝福を』

喜多 喜久/著 新潮社 新潮文庫nex

製薬会社に勤務する薬師寺千佳と別の製薬会社の研究室に勤める遠藤宗史は、実は会社に内緒で『超希少疾患特別治療』を行う病院の創薬チームでの研究に携わっている。それも二年前から原因不明の昏睡状態に陥っている千佳の姉であり、遠藤の婚約者である姫子の治療法発見に繋がればという思いからだ。依頼されるさまざまな難病の治療法を探っていく二人だが…。「創薬」の世界とミステリーの組み合わせが新鮮に感じます。

春ですね。だいぶ暖かくなってきました。

さて、今号の特集は、「探偵」です。

いろいろな探偵たちの事件と推理をお楽しみください。

『スチームオペラ』 蒸気都市探偵譚

芦辺 拓/著 東京創元社

技芸学校（ポリテクニック）の学生、エマ・ハートリーは、父親が船長をしている空中船《極光号》が帰還した日に、あこがれの名探偵バルザック・ムーリエに出会ったことで、自分が将来になりたいものに気付いた。見習いとしてムーリエに弟子入りを認められたエマは、船で出会った不思議な少年ユージンとともに探偵局に持ち込まれる事件に挑んでいく。

蒸気機関を中心とした科学技術が発達した都市を舞台に、エマの冒険が始まります。事件の真相は何なのか、ユージンは何者なのか。とあることに注目して読んでみると…（これ以上は言えません）。

『セーラー服とシャーロキエンヌ』

古野 まほろ/著 角川書店

勁草館高校2年・穴井戸栄子。容姿端麗、頭脳明晰、各種必殺技と個性的な性格を持つ彼女は、帝国史上最高クラスの名探偵。そんな彼女のもとに届くのは、数々の不思議な事件たち。助手の古野まほろとともに、大胆不敵な推理劇が幕を開ける。大学に探偵部があり、探偵が国家資格になった日本。一見バラバラな4つの事件、でも実は…（こちらもこれ以上言えません）。栄子さんからのごあんないとあわせて、同じく古野まほろさんの『セーラー服と黙示録』シリーズもオススメです。

『甘栗と戦車とシロノワール』

太田 忠司/著 角川書店

名古屋の高校生の甘栗晃は、急死した父親の探偵事務所に住んでいる。だが、探偵の仕事も引き継いだわけではない。それなのがある日、中学時代に悪名高い不良だった徳永馨が訪ねてきて、人探しを頼まれる。断る甘栗だったが、強面だけど実は生真面目な徳永に押し切られ、渋々引き受けることになる。調べ始める甘栗だったが、だんだん危なげな方向に事態が進んでいく。

読後は、シロノワールが食べたくなる…かも？